

仕様

測定機能	接地抵抗 サージインピーダンス 交流電流(負荷電流・漏れ電流)
測定方式	CT クランプ方式
測定範囲 (φ34mmCT)	接地抵抗・サージインピーダンス 0.10~500.0Ω 交流電流 0.0mA~20.00A
CT内径	φ34mm
注入周波数	4~200kHz
注入電圧	約160mV P-P
通信	Bluetooth 4.2 Class 2
メモリ機能	200件
その他機能	データホールド、オートパワーオフ、オーバー表示、電池電圧低下表示
使用温湿度範囲	0~40℃ 85%RH以下 (結露なきこと)
電源	単3アルカリ電池×4 (約600回測定可能) またはACアダプタ (オプション)
寸法・質量	本体: W190×H140×D42mm 約450g (電池含まず) 検出用CT: W90.5×H165×D38mm 約460g 注入用CT: W90.5×H165×D38mm 約440g
付属品	電池、キャリングケース、検出用CT φ34mm、注入用CT φ34mm、補助リード線
オプション	φ80mm検出用CT、φ80mm注入用CT、φ80mm注入CT用シールド、ACアダプタ
価格(税別)	¥159,800

専用無料アプリ Multi-Tracer



対応OS: iOS 10以上、Android 5.0以上

- BluetoothおよびBluetoothロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Android、Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLCの登録商標です。
- iOS商標は米国Ciscoのライセンス契約に基づき使用されています。
- AppleおよびAppleロゴはApple Inc.の登録商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

精度 23℃±2℃ 80%RHにおいて

接地抵抗・サージインピーダンス				
CT	レンジ	表示範囲	分解能	精度
φ34mm	Low	0.10~10.00Ω	0.01Ω	0.10~1.00Ω未満: ±0.1Ω 1.00~10.00Ω未満: ±0.5Ω
	High	10.0~500.0Ω	0.1Ω	10.0~50.0Ω未満: ±2.0Ω 50.0~200.0Ω未満: ±5.0Ω 200.0~300.0Ω未満: ±20.0Ω 300.0~500.0Ω未満: ±30.0Ω
φ80mm	Low	0.10~10.00Ω	0.01Ω	0.10~1.00Ω未満: ±0.1Ω 1.00~10.00Ω未満: ±0.5Ω
	High	10.0~300.0Ω	0.1Ω	10.0~50.0Ω未満: ±2.0Ω 50.0~200.0Ω未満: ±5.0Ω 200.0~300.0Ω未満: ±20.0Ω

交流電流 (50/60Hz)				
CT	レンジ	表示範囲	分解能	精度
φ34mm	200mA	0.0~200.0mA	0.1mA	±3%rdg±8dgt
	2A	0.200~2.000A	0.001A	±2%rdg±8dgt
φ80mm	200mA	1.0~200.0mA	0.1mA	±3%rdg±8dgt
	2A	0.200~2.000A	0.001A	±2%rdg±8dgt
	5A	2.00~5.50A	0.01A	

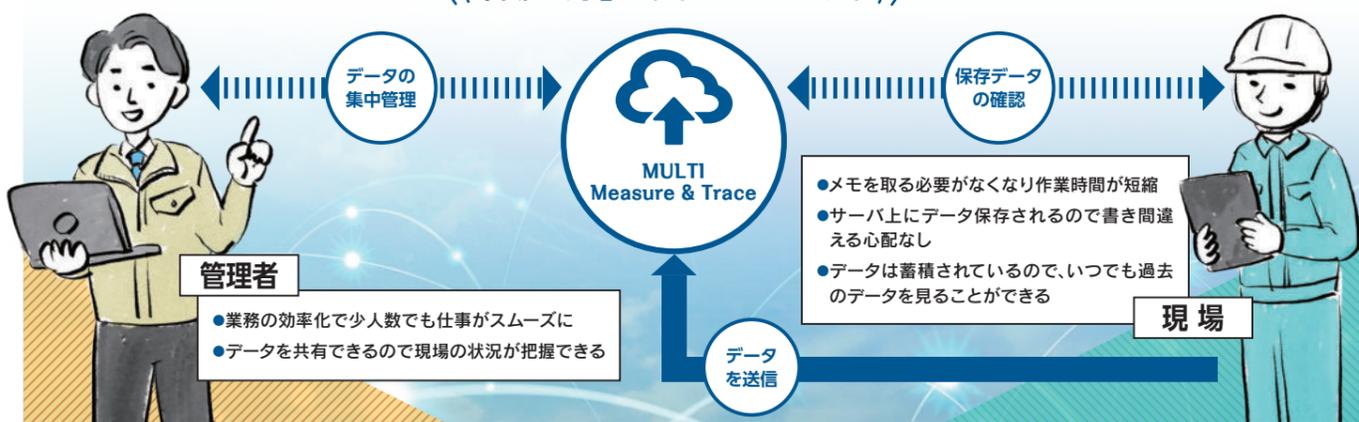
Bluetooth内蔵クランプ式接地抵抗計

# MET-10X



そのやり方  
**接地棒の打ち込み、まだ続けますか?**

蓄積したデータを活用して  
「働き方」を変えていこう。



**MULTI** マルチ計測器株式会社



http://www.multimic.com/

E-mail: otoiawase@multimic.com

本社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-26 秋葉原村井ビル7F TEL 03-3251-7013(代) FAX 03-3253-4278  
大阪営業所 〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町2-4-23 ロックベイスビル6F TEL 06-4395-5022 FAX 06-4395-5940

本カタログの内容は予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

詳細はこちら▼



マルチ計測器株式会社

# 電気設備から避雷設備までさまざまな設備で活躍する **MET-10X**



- 電源が単3電池になり利便性が向上
- 接地線にクランプしてボタンを押すだけの簡単操作
- スマートフォンやタブレットとBluetoothで接続し、離れた位置(最長約10m)での操作やデータの保存が可能

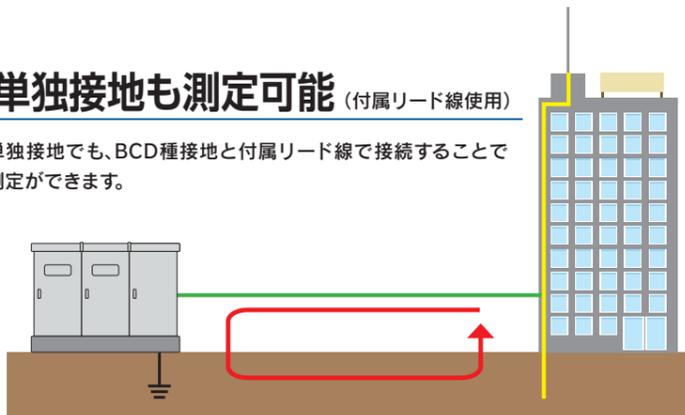
## Point 1 離れた場所から測定操作が可能

測定アプリMulti-Tracerを使うと最長約10m離れた場所から本体の操作ができます。活線での測定がより安全に行えます。

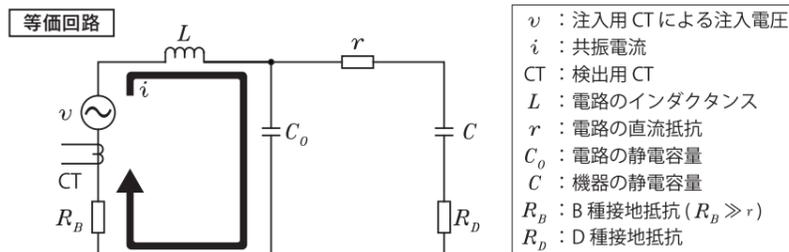


## Point 2 単独接地も測定可能 (付属リード線使用)

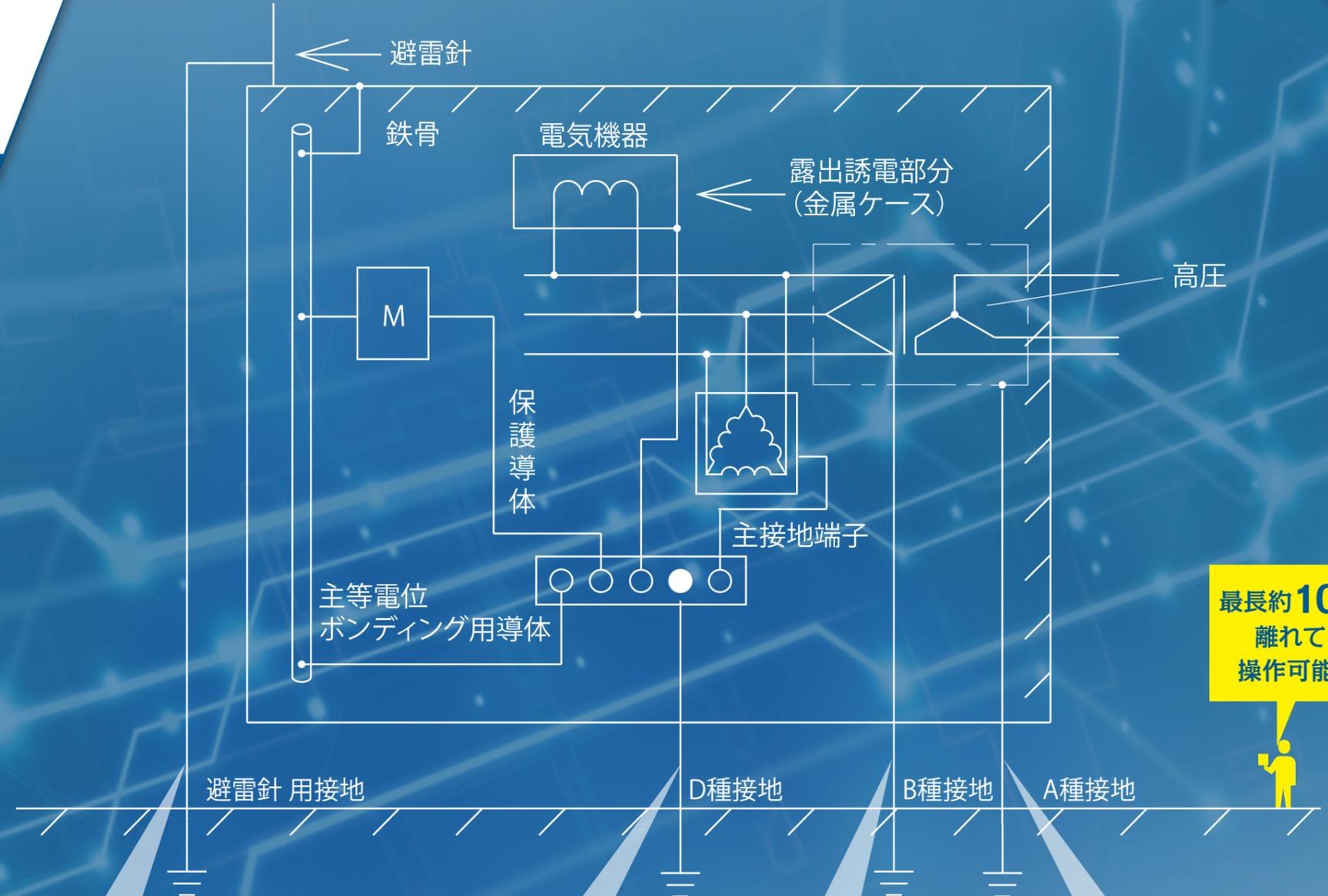
単独接地でも、BCD種接地と付属リード線で接続することで測定ができます。



### 測定原理



注入CTより回路へ約160mVppの電圧 $v$ を周波数4kHz~200kHzまで可変させ注入します。回路のインダクタンス $L$ と回路の静電容量 $C_0$ により、ある周波数で回路が共振現象を起こし電流 $i$ が流れます。共振時は電流が最も大きく注入した信号電圧と同相であるため、接地抵抗 $R_B$ を通った最大電流を検出CTにより検出し、 $R_B = v/i$ にて接地抵抗 $R_B$ を求めます。



最長約10m  
離れて  
操作可能!

